



立志の丘

第42号

R5.2.10

西目中学校

文責：高野

令和4年度最後の発表集会が行われました

2月1日(水)6校時に、今年度最後の発表集会がありました。1年生は、お世話になった3年生の先輩に部活動毎にお礼の気持ちを伝え、2年生は、中学校生活中間地点における今後の決意を述べて、3年生は、3年間を通して学んだことを後輩へのエールとして発表してくれました。



生徒発表の紹介

【3年A組 橋****】

僕がこの三年間で学んだこと、そして1、2年生に伝えたいことについて話します。

僕が1、2年生に伝えたいことは、ズバリ、「自分を信じる」ということです。

部活動や勉強での不安、新しい環境への不安、将来への漠然とした不安、人間関係に対する不安など、それぞれいろんな不安を抱えていると思います。特に、将来への不安、勉強への不安は、高校入試が迫っている3年生は、身をもって感じていると思います。また、部活動や人間関係での不安も、1年生はこれから後輩ができたり、2年生は最後の大会、主役としての大会ということに、焦りや不安を感じている部分もあると思います。

不安を抱えていると、やる気が出ず、手がつかなくなってしまうたり、緊張して空振ってしまったりなど、どんどん良くない状態になっていってしまいます。また、新しいことに挑戦したりすることに不安を感じ、その一歩を踏み出すことを諦めてしまうと成長も止まってしまう。

そこで、不安とは何かと考えたとき、不安の根本的な部分で共通していることは、「みんなからの評価が下がることが怖い」という気持ちなのではないかと思いました。そして、自分自身が自分の評価を下げてしまっているのではないのでしょうか。そんな評価を変え、自分を信じるためには、まずは自分を好きになることが

大切だと思います。誰しも1つや2つ得意なことや好きなこと、そして誰も持っていないものを持っているはず。そんな自分を好きになり、自分らしさを周りに発信していけば、自分を信じていることができると思います。また、そうやって自分を省みることで、今やらなければならないことが見えてくるはず。自分を信じて少しずつ、少しずつ歩みを続けて、自分という一人の人間を高めていってください。

【3年B組 木****】

中学校生活三年間を振り返ると、改めていろんなことがあったと感じます。体育祭や西中祭などの行事、部活動や委員会活動などを通して、先輩達から受け継いできたことをもとに、たくさんの方に挑戦してきました。

中学生になって、私達が始めたことの一つは、SDGsの活動です。一人一人がSDGsについて調べ、三年間でたくさんの活動をしてきました。特に三年生になってから、フードドライブを行うなど今まで考えてきたことを実践することができました。SDGsの活動を調べる中で、地域の人をはじめ、多くの人と交流できたことも良い経験となりました。一・二年生の皆さんには、今後もSDGsの活動を続けてほしいと思います。



AKITA SDGs

また、生徒会活動も、とても印象に残っています。私は一年生の時から生徒会総務として様々な活動に携わってきました。中でも私たちが主体になってからの活動はとても大変でした。西中祭や文化祭の運営など、先輩達から受け継いだこと。箕面市との交流や選択講座など新しく始めたこと。忙しい中でも、自分達で考えて一緒に活動する時間はとても楽しかったです。

そして、今、西目中の中心として学校を引っ張ってくれている二年生の皆さん。後期の行事での皆さんの活躍や全校委員会での話合いの様子などを見ていると、とても頼もしさを感じます。これからも自分達らしく、新たな西目中を築いていってください。

最後に、やはり一番思い出に残っているのは、中学校生活最後の一年です。行事があるたびに団結し、円陣を組んで、笑い合った一年はとても楽しかったです。このメンバーで良かったです。辛いこともたくさんあったけれど、たくさん笑った三年間でした。三年生の皆さん、本当にありがとうございました。

三年間はあっという間です。一・二年生の皆さんには、夢を力に、自分なりの目標をもって頑張ってもらいたいです。そして、部活に勉強、苦しいことも多いと思いますが、一度きりの中学校生活を、仲間と一緒に思いっきり楽しんでください。

これで終わります。



【2年A組 松****】

私は今、将来なりたいものがありません。私の人生は一度だけなので、後悔したり苦しんだりして生きるよりも、楽しく自分のやりたいことをしていきたいです。

しかし、人生はそんなに甘くないと思います。壁がたくさんあって、理不尽なことばかりなのだろうかと考えているうちに、自分が何をしたいのかがよく分からなくなっていました。

そんな時に、佐****さんの講演を聞いて、こんな風に自分のしたいことをしている人がいるんだなと思いました。佐**さんは、①自分を知る、②自分の設計図を作る、③思考を変える、の3つを詳しく教えてくださいました。お話を聞いているうちに、佐**さんはまず自分を一番考えていることに気付き、自分らしく生きるとはこういうことなんだと考えることができました。

講演を聞いて、はっきり自分が将来したいことが決まったわけではありません。しかし、何かを成し遂げるためにはどんな壁にも立ち向かえる強い心が私には必要ではないかと思いました。強い心を鍛えるために、何事も諦めず、最後までチャレンジしていきたいです。

私たちももうすぐ3年生になり、受験が待っています。その時までには緊張に負けない強いメンタルを鍛えておきたいです。

私は地味なことが嫌いです。でも毎日の積み重ねがどんどん積もって大きくなっていくと思います。

だから私は人生を地道に派手にそして強く生きていきます。



【2年B組 永****】

私は、自分の気持ちを素直に相手に伝えることが苦手です。周りの人たちは、正直に自分の思ったことを話していて、すごく良いなと思います。

私の将来の夢は、看護師になることです。以前はあまり興味がなかったけれど、体調不良で病院に行ったときに、看護師さんが気遣ってくれたことがすごく嬉しく、感謝の気持ちでいっぱいになりました。だから私は、周りの人たちの気遣い、相手の心に寄り添える看護師になりたいと思いました。

夢を見つけられたのでそれに向かって日々努力を積み重ねて進んでいきたいです。嫌なことや悲しいことがたくさん待っているとします。でも、私はポジティブ思考を使い、嫌なことの中にある良いところを探していきたいです。

少年式では、「努」という漢字を書きました。どんなに辛いことがあっても諦めず、最後まで努力し続ける人になるという意味が込められています。私はすぐ楽な方に逃げてしまうことがあります。でも、そんなことをしていると、人との出会いや経験、自分自身を見失ってしまいます。諦めずに努力すると、たくさんの経験や思い出が自分の人生に刻まれて、生きていて良かったと実感することができそうです。辛いことがあったとしても最後まで努力する、どんなことにも積極的に挑戦する、そんな人に私はなりたいたいです。

最後に、これから私は数えられないほどの経験をするでしょう。その経験の中での自分の意見を貫き通し、しっかりと歩んでいきたいです。



1年生の発表内容は次号でお伝えします。

インフルエンザに注意！

全体的にインフルエンザ流行の兆しがあります。体調に変化があった場合は、必ず受診してください。出席停止期間は、発症後5日経過しかつ、解熱した後、2日経過するまでです。治療により解熱が早い場合がありますが、最低でも発症した後5日間は出席停止となります。**こまめな換気・手洗いで予防！**

